

たいし塾

開催場所：四天王寺大学

無料

テーマ「心とは何かを考える
— 心理学と仏教からのアプローチ —

本講座では、人間にとって根源的な問いである「心とは何か」をテーマに、多角的な視点から考察します。心理学は心を観察・分析し、認知や感情、行動のしくみを科学的に探ろうとします。一方、仏教は心の苦悩や迷いを直視し、その克服と解放の道を示してきました。本講座では、心理学と仏教の専門家による講義や対話を通じて、心の働き、無意識や感情の理解、瞑想や自己省察の意義などを取り上げます。異なる学問や伝統が交わることで、心を多面的に捉え直し、受講者の皆さんの生活や思索に活かす契機とすることを目指します。

11/22(土)

13:30~15:00

講座
No.

A

▶ 「わたし」とは何か — パーソナリティ心理学の視点から —

社会学部 / 社会学科 上野 淳子 教授

自分で思う「わたし」と他者の目にうつる「わたし」は一致するのでしょうか。異なる状況であっても同じ「わたし」でいられるのでしょうか。心理学の視点から、「わたし」とは何かをひもときます。

12/6(土)

13:30~15:00

講座
No.

B

▶ 心で心をおもふこと — なぜ人は罪を犯すのか —

社会学部 / 社会学科 茂木 洋 教授

目に見える行為の背後には、見えない心の動きがあります。したがって心をとらえずに行為を理解することはできないし、行為を抜きに心を考えることもできません。人は何を目標として生きるのかという観点から犯罪について考えてみます。

12/20(土)

13:30~15:00

講座
No.

C

▶ ロボットは他者となり得るか — 対人魅力の観点から考える —

社会学部 / 社会学科 藏口 佳奈 講師

現代社会においてロボットを見かける機会は増えていますが、このロボットは他者と位置付けることができるのでしょうか。対人関係構築において欠かせない対人魅力の研究知見や理論から、ロボットの存在を考えます。

1/24(土)

13:30~15:00

講座
No.

D

▶ 「こころ」は身体で感じる — フェルトセンスから新しい意味を創造する フォーカシング入門 —

社会学部 / 社会学科 三宅 麻希 准教授

私たちは「こころ」をどのようにして知ることができるのでしょうか。「フォーカシング」という心理療法の手法では、ぼんやりと感じられる身体的な意味感覚である「フェルトセンス」を手掛かりに「こころ」を知ろうとします。その理論的背景について解説します。

2/7(土)

13:30~15:00

講座
No.

E

▶ 心のメカニズムを学ぶ — 仏教心理学としての唯識思想 —

社会学部 / 社会学科 / 学科長 藤谷 厚生 教授

大乘仏教における唯識思想は、まさに我々の深層の心（意識）を詳細に分析した、いわば仏教心理学という理論的な哲学です。西洋的な心理学とは対照的に、この心のメカニズムの思想をもとにして「心とは何か」を考えてみます。